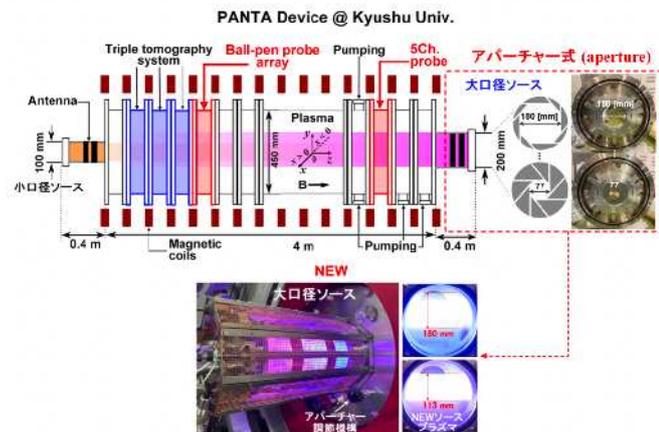


プラズマ・核融合学会誌

第100巻第10号

2024年10月

解説	直線磁化プラズマを用いたプラズマ乱流研究の新展開	文 贊 鎬	419
令和6年度プラズマ・核融合学会学会賞選考結果の報告			425
インフォメーション			427
	幅広いアプローチ活動だより(111)		
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(87)		
	【会議報告】 51st IEEE International Conference on Plasma Science (ICOPS)		
	第50回 European Physical Society (EPS) Conference on Plasma Physics		
	【人事公募】		
本会記事			442
	第13回プラズマ・核融合学会通常総会／プラズマ・核融合学会会員会費改定のお知らせ		
編集後記			



表紙の絵

九州大学 PANTA 装置に増設された新たなプラズマソースを図に示す。このソースの大きな特徴は、アパーチャー (aperture) によってプラズマ径を制御できる点にある。アパーチャーを活用することで、プラズマ径を精密に調整でき、最大で従来のソースの2倍まで拡大することが可能である。この技術により、非線形的な乱流揺動が関与する熱・粒子輸送の詳細な研究が進み、プラズマ乱流輸送の解明や新たな制御手法の開発が期待されている。

(文 贊鎬、プラズマ・核融合学会誌 Vol.100-10, 419 (2024))

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター (社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体) と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません (社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2 F Tel: (03) 3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。